

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和7年9月25日

和泉市長 あて

団体名 グリーフケア ひまわりの空
代表者名 和泉ゆな
所在地 大阪府和泉市はつが野 5-16-3
電話番号 090-9097-7638

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	グリーフケアマルシェ
申請コース	(1) 公益活動支援コース ■チャレンジコース □ステップアップコース (2) 地域活性化コース □地域活性化コース
事業費総額	_____ 173,000 円 (うち、対象経費 _____ 173,000 円)
支援金 交付申請額	_____ 100,000 円

1. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

1 事業名	グリーフケアマルシェ
2 申請コース	<input type="checkbox"/> （1）公益活動支援コース <input checked="" type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース <input type="checkbox"/> （2）地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
<p>①事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等</p> <p>代表自身が我が子をなくして遺族となったときの経験から、大切な人をなくした時のケアやサポートであるグリーフケアが不足していることが問題だと強く感じた。それにより、苦しむ遺族へ適切なケアが行き届かず、悲嘆の適応過程が滞ったり、遺族が孤独になって悲嘆が長期化・複雑化するリスクが高まる。</p> <p>遺族が孤独になる背景には、死をタブー視する日本文化により、周囲の人も遺族にどう声をかけていいかわからなかったり、良かれと思ってかけた言葉によって遺族が傷つくことがあげられる。またグリーフケアが保険診療外の現状では、遺族をケアする場所や人員、時間の確保なども難しく、グリーフケアの体制整備も課題である。</p> <p>このような背景に加えて、これからますます高齢化社会が進む日本では、グリーフケアの必要性は今後高まることが予想される。しかしグリーフケアという存在だけでなく、言葉さえもほとんど知られていないことが直近の課題と考え、まずはグリーフケアの周知や理解、孤独を防ぐために人とのつながりをつむぐ機会が必要と考える。</p>	
<p>②事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果</p> <p>本事業を実施することにより、グリーフケアというものがあるということ、そしてグリーフケアについて知り、グリーフケアを身近に感じてもらう機会としたい。そのことによりまわりの人の想いや経験に寄り添ったり、生命の大切さや生きることを見つめ直すきっかけづくりを提供する。</p> <p>また大切な人をなくしたことを、普段はなかなかまわりに打ち明けられない人も多く、遺族は孤独を感じやすい。遺族や当事者の孤立防止、安心できる語りの場の提供を目指し、それぞれの大切な人への想いをつむぐ、お互いに寄り添う心をつむぐ、ぬくもりやつながりをつむぐ。参加者それぞれのつむぐ居場所づくりとしたい。</p> <p>本事業を通して、地域での遺族当事者、グリーフケアに携わる支援者、地域住民それぞれがつながり、お互いに寄り添い、グリーフを抱えた人を共に支え合う地域社会を実現する。</p>	
4 事業内容（※別紙添付可）	
<p>①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。</p> <p>グリーフケアがほとんど知られていないという問題に対しては、グリーフケアに精通した医師による講演やパネル展示、各種リーフレット配布を行うことで啓発活動を行い、グリーフケアへの周知や理解を促す。</p>	

遺族が孤独になりやすいという問題に対しては、より身近にグリーフケアを感じ考える機会とすること、さまざまな背景や立場の人とのつながりをつむぐ機会とするために、地域住民がより気軽に参加しやすいマルシェという形にすることとした。

マルシェは、グリーフワークができるブースや、癒し・つながりをテーマにした出店がメインで、出展者さんの中には、ご自身が大切な人をなくされた遺族であったり、マルシェへの想いや大切さに共感していただき、出店いただいている方もいる。

普段はタブー視されがちなグリーフ。私たちがこのように声を出して伝えていくことで、グリーフケアへの周知や理解が少しずつでも広まったり、グリーフによる繋がりがうまれていることを感じしており、伝えていくことの大切さを実感している。

②実施期間（日時）	令和 8 年 11 月グリーフケアマルシェ
③実施場所	和泉市内のイベントスペース、和泉シティプラザなど
④主な対象者	大切な人をなくした遺族、医療従事者、支援者、地域の人
⑤参加予定者数	100 人
⑥告知方法	SNS 告知、広報、チラシ、

5 事業スケジュール

次期（月）	内容
R8 7 月	マルシェ実行委員会打合せ開始、会場予約
R8 8 月	出店者募集、チラシデザイン作成、SNS 発信開始
R8 9 月	出店者確定、チラシ印刷・配布、市内広報強化
R8 10 月	プログラム決定、ボランティア募集、備品購入、保険加入
R8 11 月	つむぐマルシェ第 2 回（マルシェ出店、セミナー、相談ブース、交流会）
R8 12 月	振り返り、アンケート集計、SNS 報告、市への実施報告書提出

6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照

（実施事業について、どのような点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。）

① 公益性	グリーフケアは今後高齢化社会が進む中で、ますます需要が高まると考える。本事業は自死や若くに親をなくした子供など、複雑化した社会で孤立しがちな遺族が、安心してかなしめる居場所となり、地域でのつながりをうみ、住民の精神的健康に寄与する。
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>また地域でのつながりは、互いの想いに寄り添い共に支え合うコミュニティをつくることで、その結束を強化し持続可能な社会をつくる基盤となる。</p>
②継続性	<p>本事業は有料イベントや講座の開催、協賛企業や寄付者の獲得などによる自主財源の確保、地域連携・協働体制の構築、ボランティア・地域人材の活用、ノウハウの蓄積と仕組み化、広報・発信の強化を行っていくことで、助成金終了後も持続可能な活動として設計している。</p>
③実行性	<p>本事業は、グリーンケアに対する理解を深め、参加者が安心して人とのつながりを実感できる場を提供することを目的としている。参加型のワークショップや専門家による講演を通じて、地域住民の心の健康を促進し、社会的なつながりを強化することを目指す。</p> <p>既存マルシェの計画を基に、具体的な事業計画を立てており、予算案も現実的かつ合理的に策定している。必要な資材や人員を明確にし、実行可能な内容として整理した。</p> <p>本事業は、ひまわりの空が主催し、「グリーンケアマルシェ実行委員会」を設置して運営を行う。</p> <p>また、プロジェクトに関与する団体間での連携が確保されており、実行体制についても信頼性の高いものを構築している。定期的なミーティングを行い、役割分担や進捗状況を確認することで、円滑な運営を推進する。</p> <p>申請額については、必要な経費を正確に算出し、適切な範囲内であることを確認している。資金の使途も明確であり、効率的に運営することで、地域に貢献することが期待される。</p> <p>さらに、当団体は一定のメンバーシップと経験豊富なスタッフによって構成されており、代表、副代表は医療従事者としても活動しており、今後も安定した運営が見込まれる。これにより、事業の実行可能性と持続性を高め、地域におけるグリーンケアの重要性を広めることができる。</p>
④協働性	<p>本事業は、広く市民が参加・参画できるプラットフォームとして設計されている。喪失を抱える方々が安心して集まり、癒しやつながりを得られる場を提供することで、地域全体の心の健康を促進する。参加者は、ワークショップや情報共有を通じて、地域の人々とのつながりを深めることが期待される。</p> <p>グリーンケアの専門家や地域のグリーンケア団体、地域のボランティアと協力してイベントを共催することで、より多くの視点や専門知識を取り入れ、質の高い支援を行うことが可能である。これにより、多様なニーズに応える体制を整え、市民や他団体との相互連携を促進する。</p> <p>さらに、世代や地域を超えた交流を図ることを目的とし、子供から高齢者まで、幅広い世代が参加できるプログラムを用意し、相互理解を深めることを重視する。</p> <p>このように本事業は、広範な市民参加を促し、地域の連携および協力を図ることで、地域に根ざしたサポート体制を築くことを目指す。</p>

<p>⑤公開性</p>	<p>本事業では、公開性を重視し、事業内容を積極的に情報発信するための工夫を行い、多くの市民が関与できる参加型の事業を推進する。</p> <p>具体的には、地域の広報媒体やSNSを活用して効果的な情報発信を行い、イベントの内容や目的を広く周知し、参加者や地域住民に最新の情報を提供する。また、地元のコミュニティセンターや医療福祉施設と連携し、掲示板やチラシを活用して情報を共有する。</p> <p>さらに、より多くの市民が関心を持ち、参加できるよう工夫したプログラムを豊富に取り揃えている。多様な年齢層に対応したワークショップやグリーンケアに精通した医師による講演を設けることで、無理なく参加できる環境を整えている。初めての方でも参加しやすいオープンなイベントを企画し、地域全体を巻き込むことを目指している。参加者の声を反映させたフィードバックを収集し、次回開催に活かすことで、継続的に魅力的な事業を展開する。</p>
<p>⑥発展性 (先駆性・ 展開性) (集客性)</p>	<p>本事業は、地域の心のケアを促進する先駆的な取り組みで、市民が気軽に参加できる場を提供し、地域全体の心の健康向上を目指す。</p> <p>将来的には定期的な開催を計画し、ニーズに応じたワークショップや講演を展開することで、参加者の継続的な参加を促す。また、地域のコミュニティセンターや学校との連携を強化し、SNSや地域メディアを活用して広報活動を行い、集客を図っていく。</p> <p>本事業は、一時的なイベントにとどまらず、地域に根ざした長期的な発展が期待できる。市民の心の健康に寄与し、持続可能なコミュニティづくりに貢献していく。</p>

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称： グリーフケアマルシェ

1. 【収 入】 （単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	100,000	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	60,000	3000円×20組（マルシェ出店料）
使用料及び賃借料	7,000	椅子、テーブルレンタル料 テーブル500円×10台 椅子100円×20脚
自主財源	6,000	
合 計	173,000	

2. 【支 出】 （単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	50,000	講師謝礼 20000円 参加賞 300円×100名（キーホルダー）
旅費	10,000	スタッフの活動に伴うガソリン費 （200円×10人） スタッフの活動に伴う交通費 （駐車場代800円×10人）
消耗品費	3,000	文房具購入費 封筒、ボールペン、コピー用紙100枚
食糧費	1,000	講師弁当、飲み物 1000円
印刷製本費	33,000	マルシェチラシ印刷費（A4、両面カラー）1回 1万部 20000円 グリーフケアリーフレット印刷費（B6三つ折り、両面4色）100部 8000円 ポスター（A2、カラー）10枚 5000円
役務費	1,800	ボランティア保険料 300円×5名 指定ごみ袋購入 300円
委託料	50,000	チラシ作成 20000円 インスタ広告費 30000円
使用料及び賃借料	24,200	マルシェ会場費 16500円、7700円
合 計	173,000	
対象経費	173,000	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。
 ※実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。